



いほう

〈福山市めざす子ども像〉

すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現

〈柳津小学校教育目標〉

進んで学び 豊かな心で たくましく生きる 児童の育成

2026年(令和8年) 4月8日 第1号

進級・ご入学おめでとうございます

2026年度(令和8年度)がはじまりました。今年度は1年生16名を迎え、全校児童116名でのスタートです。今日の始業式で、児童に次のように話しました。

児童の皆さん、進級おめでとうございます。今日から新しい教室で、新しい学年の生活が始まります。

一昨日は六年生が新しく使う教室の机やイスを運んだり、明日の入学式の準備をしたりしてくれました。

きびきびと動き、役割を果たす姿を見て、さすが最高学年の六年生だなと感心しました。六年生に任せておけば柳津小学校も大丈夫!と思いました。

今年のテーマは「自己決定」です。自己決定とは、自分で考え、自分で決めることです。それは、まず、「どうしようかな」と自分で考えます。「よし、これをやろう」と自分で決め、最後まで責任をもって行動する。これが自己決定です。

「自己決定」をする場面は生活の中にたくさんあります。

例えば、朝学校に来た時、「先生に言われたから挨拶をする」のではなく、「自分から進んで挨拶をしよう」と決めて大きな声を出す。

掃除の時間では、「いわれたところだけやる」のではなく、「ここをきれいにしたら、みんなが気持ちがいいぞ」と自分で決めて本気で床を磨く。これこそが、自分で考え、決めるということです。

授業中にわからないことがあった時。「まあ、いいや」とそのままにするのか、「わかるようになりたい」と思って、先生に聞いたり、友達に相談したりするのか。決めるのは先生ではなく、自分です。

当番や係活動で、さぼってしまうことも、誰かに押し付けてしまうこともできます。「自分で決めた役割だ」と思って、責任をもってやり遂げる人は、大きく成長します。

もちろん、自分で決めたことがいつも正しいとは限りません。時には、間違えたり、失敗したりします。そんな時に「先生が何も言ってくれなかったから」「友達がやろうとிட்டから」と人のせいにするのではなく、「どうしたらいいかな」と、自分で考えなおす、その積み重ねが「自分で考え、自分で決める子」になっていきます。それが自己決定です。

先生たちは、皆さんが「自己決定」することができるように話を聞き、支え、見守ります。間違えても大丈夫です。そこからまたいっしょに考えましょう。

来年の3月に、皆さんが「人任せではなく、自分で考え、自分で決めた一年だった」と心から言える、充実した一年になるようにしていきましょう。

校長 甲斐敏子

「最高」学年としての6年生

4月6日(月)、最高学年になった6年生が、学校のリーダーとして、新しい学年のスタートの準備をしてくれました。6年生は「最高」でなくてははいけません。下級生を守り、教え、お手本にならなくてははいけません。下級生に「かっこいい」「すごい」「あんなふうになりたい」と、あこがられる存在にならなくてははいけません。全校児童のために、気持ちよく始業式や入学式ができるように体育館まわりを掃除したり、新しい学年の数に合わせて机や椅子を運んでくれたりしました。作業が終わると、入学式の練習をしました。手をつないで1年生と入場する練習は、歩く速さを考えたり、1年生の座る椅子の場所を確かめたりしていました。すばらしいと感じたのは、6年生が、ほぼ全員参加で、させられているのではなく、楽しそうにいきいきと掃除や準備に取り組んでいたことです。誰かのために働くことや、下級生を楽しませることに喜びを感じる事ができるすばらしい学年になってくれそうです。



校舎内や体育館などをそうじしました。写真は1年生の教室を念入りにきれいにしている様子です。



職員室に届いたドリルやワークなどを、教室に運びました。落とさないように丁寧に運びました。



入学式に手をつないで入場する1年生を座らせる椅子の場所を確認しています。笑顔の練習もしました。

2026年度(令和8年度)柳津小学校教職員です。よろしくお願いいたします。

担当	名前	担当	名前
校長	甲斐 敏子	ひまわり2組	山路 眞由美
教頭	澁谷 一志	専科	佐藤 恵子
1年	本馬 呼春	養護教諭	神田 遥
2年	檀上 梨衣	事務	神原 彩羽
3年	末安 将大	技術員(給食)	藤本 暁子
4年	中根 耀介 山田 綾香	技術員(給食)	西迫 真千子
		介助員	石井 宏美
5年	重松 みなみ	校務補助員	開原 明美
6年	杉本 里沙	小中一貫図書館補助員	宮谷加奈子
たちばな	関屋 亜紀子	非常勤講師	北岡 真央
ひまわり1組	増成 悠太		